



写真・文 タカヤナギユタカ

・応量器 黒 32,550円(税込)サイズ:145×76mm(最大)素材:栃 禅僧三点揃 8,400円(税込)サイズ:スプーン215、へら211、箸212mm(長さ) 素材:朴
たに屋 石川県加賀市別所町2-6-2 TEL.0761-77-1441 URL:http://www.taniyajapan.com

まさに一目惚れである。この入れ子になった応量器を初めて見た時、美しいと思った。欲しいと思った。
禅宗の修行僧の持ち物は「二衣一鉢」と教えられ、「一衣」というのは「ころも」、「一鉢」は、食事に使う「応量器」のことだ。食事一品一品の量に応じて使うことがその名の由来である。本来、その材質は鉄または土が原則であり、木製は禁じられているが、漆をかけたものは鉄製とみなされ、漆器が許されているそうだ。
一番外側の大きな器に粥を受け、以下、それぞれ定められた器に汁、香菜(こうさい)漬物、副菜を受ける。一番外側の粥を受ける器は、釈迦の頂骨であるとされ、直接口をつける事や粗略に

たに屋の応量器に必然の美を見た。

扱う事は厳禁。また食事の他に、托鉢の際に布施を受ける器にも用いられる。姿形が美しい道具は、ほぼ間違いなく機能が優れている。僕は昔、10年ほどトランペット吹きだったが、形の美しい楽器は、音色も良いものである。この応量器は、ただただ必要とされるものを、装飾やデザインを意識せずに作られた。その結果が美しいのだ。手垢のついた感のある「用の美」という言葉を使わずに言えば、それは「必然の美」とでも表現すべきものだろうか。

たに屋は国産の木と本漆にこだわる。作り手は山中の職人。熟練した職人が、数え切れないほどの工程を経て作り上げる。だから、たに屋の応量器は丈夫でいつまでも長く使える。曹洞宗の大本山永平寺が長年に渡って、たに屋に応量器を頼む所以である。最近では、お寺だけでなく、マクロビオティックを実践しているような一般の人からも注文が入るそうだ。また、海外でも高い評価を得ている。

この応量器。すごく欲しいのだが、今の僕あまりに忙しい生活には合わないというか、もつたない。もう少しスローな生活を取り戻してから、手に入りたい逸品である。

表紙・裏表紙写真 タカヤナギユタカ
モデル:水口裕子さん
場所:粟津温泉 祈りの小径



夕日に輝くエノコログサ@小松市大倉岳高原

加賀日和 vol.6

CONTENTS

- P32 加賀日和なお店紹介
 - P30 つくる・人 長井麦 (麦工房)
 - P28 日本酒。その一滴に出会うまで
 - P26 料理日和 加賀野菜の豆乳グラタン加賀棒茶の香り 葉渡莉
 - P24 立ち寄り湯手形
 - P22 温泉に入ろう ベにや無何有 山代温泉
 - P20 南加賀「喰いもん放浪記」 レスト三湖
 - P06 まちのお店屋さん 滝本莫庵店 小松市
 - P04 エッセイ「愛しの南加賀」 日比野頭一 山中温泉 左らく
 - P03 これが欲しい! たに屋さんの応量器
- P08 60分の巡礼の旅へ出かけよう
祈りの小径 粟津温泉